

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

東西思想の邂逅

18世紀在華イエズス会士の報告を中心に

Encounter between Eastern and Western Ideas

16～18世紀、在華イエズス会士（中国に滞在したイエズス会宣教師）がヨーロッパへ送った中国に関する膨大な報告は、一部の東洋・中国趣味の者を魅了するにとどまらず、知識界全体の関心事として広範に流通した。ではこの報告は、中国のいかなる資料に依拠し、またそれらにどの程度忠実なのか。本発表では、この基本的かつ重要な問題の解明から出発し、同時代中国における思潮との連関を明らかにすると共に、いかなる資料からも逸脱した、つまり在華イエズス会士が独自に創作した部分にも注目し、そこに現れた主張とヨーロッパにおける思潮との関わりを検討する。



16世紀～18世紀、在華イエズス会士が暮らした北京四堂（左から、南堂、北堂、東堂、西堂）の現在の姿。北堂にアミオらフランス出身者が居住した。

◆ 日 時： 2014年 11月 20日（木） 17:00-18:00

◆ 報告者： 新居洋子氏（東京大学 東洋文化研究所 CPAG特任研究員）

◆ コメント： 大木 康 氏（東京大学 東洋文化研究所 教授）

◆ 会 場： 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら：<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

